

Newsletter: 日本音韻論学会 (PhSJ)

第 26 巻第 1 号 (通巻 75 号)

2022 年 5 月 2 日

『音韻研究』第 25 号発行

『音韻研究』第 25 号が発行されました。2021 年度春期研究発表会・音韻論フォーラム 2021 において発表された論文および一般投稿論文 11 編 (査読を経たもの)、招待講演論文 3 編 (会長就任講演、学位取得者講演を含む)、講演要旨 5 編、音韻論フォーラム 2021 におけるシンポジウムの報告 4 編 (概要報告 1 編、招待講演 1 編、報告 2 編)、合計 23 編が収められております。

昨年度の会費を今年の 3 月末日までに納付された方には、1 部お送りします。幅広く教育、研究にご利用頂きたく存じます。なお、年度にかかわらず **未納分の年会費が納入されましたら、当該年度の『音韻研究』を無料で送付いたします。**

なお、発送は、5 月中旬頃になる見込みです。

2022 年度春期研究発表会

2022 年度春期研究発表会 (通算第 29 回大会) を、2022 年 6 月 4 日 (土)、Zoom によるオンラインで開催いたします。発表会終了後には会員総会も行われます。会員の皆様には、奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。プログラムは別紙の通りです。

問合せ：安藤智子 (春期研究発表会担当理事)

E-mail: phsjspring2022[at]gmail.com

[at]を@に置き換えてください

音韻論フォーラム 2022

2022 年度は以下の要領で音韻論フォーラムが開催されます。

期日：2022 年 8 月 24 日 (水) ~ 26 日 (金)

会場：成蹊大学 (一部または完全にオンライン開催になる場合あり)

プログラム等詳細につきましては、7 月下旬に発行予定の次号 Newsletter で、改めてお知らせいたします。

フォーラム研究発表募集

音韻論フォーラム 2022 の研究発表を、下記の要領で募集いたします。発表希望の方は奮ってご応募ください。

本フォーラムでの発表内容は、編集委員会での査読を経て『音韻研究』第 26 号 (2023 年 3 月発行予定) に掲載されることとなります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれも遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、発表 1 件につき、原則として 8 ページです。

<応募要領>

発表テーマ：音韻論・音声学に関するもの、あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの

使用言語：日本語または英語 (日本語で発表の場合、海外ゲストへの配慮によりハンドアウトやパワーポイントは英語にすることを推奨)

発表形態：一般発表またはワークショップ

送付方法：いずれの発表形態の場合も (1) 要旨、(2) 発表者情報を別のシートに記載し、下記の担当理事宛に送信する。

応募資格：会員のみ応募可能。ただし共同発表の場合は筆頭発表者が会員であればよい。

応募件数：同一発表者による応募は 2 件以内とし、このうち筆頭発表者としては 1 件とする。

I. 一般発表の場合

(1) 「要旨」には、タイトルと発表要旨のみを記入する (氏名等は記載しない)。要旨は日本語の場合 2000 字以内、英語の場合 800 語以内とする。別紙に参照文献一覧を 1 枚以内で示す。

(2) 「発表者情報」には氏名、所属、発表タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載する。

II. ワークショップの場合

(1) 「要旨」は、ワークショップ全体に関するものと、各発表者によるものを用意し、代表者が取りまとめ、一括して送信する。各要旨には、タイトルと発表要旨のみ記入する (氏名等は記載しない)。各要旨は日本語の場合は 2000 字以内、英語の場合は 800 語以内とする。要旨各々につき、参照文献一覧を 1 枚以内で示す。

(2) 「発表者情報」には発表者全員の氏名、所属、タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載する。代表者に印をつける。

EメールでPDFファイルを送信する（PDFファイルの作成が不可能な場合は、Wordファイルにて作成する）。Eメールでの応募ファイル添付ができない場合などは、事前に担当理事に連絡すること。

書式：A4サイズに発表時の使用言語で記載。
締め切り：2022年6月23日(木) **(従来より1週間早まっています)**

送付・問合せ：橋本大樹（フォーラム担当理事）
E-mail: daiki[at]juen.ac.jp
([at]を@に置き換えてください)

書式を守っていない、あるいは期限内に間に合わない応募原稿は無効となりますので、ご注意ください。7月上旬に発表の可否を通知予定です。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入可能です。また、『20周年記念論文集』（2016）や本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』（1996）についても、特別価格で購入可能です。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

また、勤務校の研究室・図書館などに、もう1冊、研究費等による『音韻研究』の定期購入を御検討のほどよろしくお願いたします。

開拓社『音韻研究』係
〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-2 水上ビル 4F
TEL : 03-5842-8900
FAX : 03-5842-5560
E-mail : kawata[at]kaitakusha.co.jp
([at]を@に置き換えてください)

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

E-mail 末尾にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち1,2は、それぞれ2021, 2022の各年度の会費が未納であることを意味します。アスタリスクは会費納入済みであることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*2[5t]」と印字されていれば、2022年度の会費

が未納であり、その総額が5,000円であることを意味します。

ご確認の上、未納の会費を以下のとおり郵便振込で納入していただきますよう、お願いいたします（『音韻研究』送付時に学会名および口座番号印字の振込用紙を同封いたしますのでご利用ください）。

郵便振込
口座番号：00180-6-402077
加入者名：日本音韻論学会
他行から：ゆうちょ銀行〇一九（ゼロイチキユウ）店（019）当座0402077
年会費 維持会員：10,000円
通常会員：5,000円
学生会員：4,000円

「維持会員」の申請方法が明確化されました。維持会員は、本会を格別に支援して下さる会員です。**年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。**維持会員をご検討、ご希望の方は**事務局会計**までご連絡ください。維持会員の申請が執行部で承認されましたら、追って当年度の維持会費 ¥10,000 の請求書をお送りします（メール添付にて）。正式な維持会員の承認は当年度末までに開かれる理事会でなされることとなります。

また、会員情報（住所、所属、連絡先）が変更になった場合は、必ず**事務局会計**にご連絡下さい（学生会員から通常会員へ変更となる場合なども必ずご連絡下さい）。連絡されないままにされますと、Newsletter や『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんのでご注意願います。

～～～日本音韻論学会事務局～～～

【事務局長・会計代行】

桑本 裕二（松江工業高等専門学校）
〒690-8518 松江市西生馬町 14-4
松江工業高等専門学校 人文科学科
TEL : 0852-36-5163（直通）
E-mail: ykuwamoto[at]icloud.com

【会計】

平田 秀（武蔵野大学）

【書記】

ファン チューニュー
黄 竹 佑（名古屋学院大学）
〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町 1-25
名古屋学院大学 外国語学部
TEL : 052-678-4078（内線 2755）
E-mail: huang[at]ngu.ac.jp
※E-mail アドレスは、[at]を@に置き換えてください。

日本音韻論学会ウェブサイト : <http://www.phsj.jp>

～～～